

# 東アジア学会活動記録

【2012年】

## 1. 第22回大会（共催：韓国ビジョンと連帯21）

日時：2012年10月6日（土）午前9時30分～午後5時30分

会場：福岡大学 2号館（商学部棟）3階

午前の部（9：30～12：00）

### ■ 自由論題研究報告（2号館3階 23D教室）

座長：新谷秀明（西南学院大学国際文化学部教授）

第1報告（9：30～10：05）

「映画の街・釜山の人びと vol.2 ～『映画の殿堂』の理想と問題」

報告者：西谷郁（福岡インディペンデント映画祭代表）

第2報告（10：05～10：40）

「日本企業の海外進出のあり方について—タイの洪水後の日系企業の動向—」

報告者 松下愛（久留米大学大学院比較文化研究科後期博士課程2年）

第3報告（10：50～11：25）

「ボーダーの認識とボーダーレスへの努力～エドウィン・ライシャワーの韓国問題、沖縄問題への関わりと、現代への教訓」

報告者 高嶋幸世（元西南学院大学文学部講師）

第4報告（11：25～12：00）

「朝鮮・日本・欧米の美術交流の観点から考える韓国近代彫刻」

報告者 文芝瑛（西九州大学非常勤講師）

午後の部（13：00～17：30）

### ■ 開会あいさつ（2号館3階 232教室）

徳島千穎（東アジア学会会長/（株）トクスイコーポレーション代表取締役会長）

呉東河（ビジョンと連帯21 会長/釜山発展研究院主席研究員）

◇ 第1セッション「東アジアにおけるディアスポラ」（13：10～16：15）

座長：波瀾剛（九州大学大学院比較社会文化研究院准教授）

第1報告（13：10～13：50）

「境界人としてのサハリン韓人」

報告者：韓恵仁（建国大学校研究教授）

第2報告(13:50~14:30)

「故郷は遠くに在りて：韓国における多文化社会政策と排除の政治」

報告者：池直美(北海道大学公共政策大学院専任講師)

第3報告(14:30~15:10)

「東アジアの境界、和解と共生」

報告者：金泰萬(韓国海洋大学東アジア学科教授)

討論(15:10~16:00)

討論者：趙顕章(海東病院内科課長)

申明直(熊本学園大学外国語学部東アジア学科教授)

フロアからの質問(16:00~16:15)

◇ 第2セッション(16:30~17:30)

「日本から『北』へ帰った人の物語り」

報告者：韓錫圭(オクケトンムー北から帰った人たちを支える会)

## 2. 定例研究会

第58回定例研究会

日時：2012年4月14日(土) 15時00分から17時00分

会場：西南学院大学学術研究所 1階 第4会議室

講演

小松 昭夫 氏(小松電機産業株式会社代表取締役／(財)人間自然科学研究所理事長)

「衰退の極みに繁栄の芽は生ず 在日と日本人が拓く人類の未来」

第59回定例研究会

日時：2012年7月28日(土) 14時30分~17時30分

会場：西南学院大学学術研究所 1階 第1会議室

第一報告 「北朝鮮は情報開示に踏み出すか」

北原 守 氏(福岡県日朝友好協会 会長)

第二報告 「金正恩体制の北朝鮮 - その現状と展望」

総田 芳憲 氏(北九州市立大学 准教授)

第60回定例研究会

日時：2013年3月23日(土) 14時00分~17時20分

会場：西南学院大学学術研究所 1階 第1会議室

第一報告 「マレーシアの電機産業とFTA」(「若手研究者研究奨励金」受賞者研究報告会)

猿渡 剛 氏(九州大学大学院博士後期課程)

第二報告 「『鏡』の文学—芥川龍之介とアンドレ・ジイド」

尹 一 氏(韓国釜慶大学校教授)